

## A 現在形・過去形

参 pp.67-83

- ① The science club **holds** a meeting *once a week*. [いつもすること]  
 ② We **are looking** for new club members *now*. [今している最中のこと]  
 ③ I **swam** five days a week *during the spring vacation*. [過去にしたこと]

- ④ 現在形は現在の状態や習慣的な動作を表す。▶ I **understand** your feelings. [現在の状態]  
 ⑤ 現在進行形はしている最中のことや一時的な状態、変化している途中のものを表す。  
 ▶ You're **looking** better today. [現在の一時的な状態]  
 ◆ 現在形や現在進行形で未来のものを表すこともある。  
 ▶ The plane **arrives** at Narita at 10 a.m. [確定している公式の予定・交通機関の発着時刻]  
 ▶ What **are** you **doing** after school today? [個人的な予定]

- ⑥ 過去の状態や動作を表すときは過去形を使う。▶ I **thought** he was right. [過去の状態]  
 ▶ I **was having** dinner when you called me yesterday. [過去進行形:していたこと]

## B 完了形

参 pp.103-117

- ④ Emma **has won** the local tennis tournament *three times*. [今までの経験]  
 ⑤ John **has been playing** the drums *for an hour*. [現在まで継続している動作]  
 ⑥ He **had** already **learned** to skate *before he turned five*. [過去のある時点までの完了]

- ④ 現在完了形は今までの〈完了・結果〉〈経験〉〈継続〉を表す。  
 ▶ I **haven't finished** my report yet. [現在までの完了]  
 \* 過去のある時点については、現在完了形は使えない(過去形を使う)。(I finished my report yesterday.)  
 ⑤ 現在完了進行形はこれまでずっと続いている動作を表す。▶ How long **have** you **been waiting** here?  
 ⑥ 過去完了形は過去のある時点までの〈完了・結果〉〈経験〉〈継続〉を表す。  
 ▶ I **hadn't met** him before the party last Sunday. [過去のある時点までの経験]  
 ▶ It **had been raining** for a week when the dam broke. [過去のある時点までの継続]

## C 未来のことを表す表現

参 pp.85-90

- ⑦ I **will practice** hard for the next track meet. [その時点での決意や予測]  
 ⑧ We **are going to take** part in a speech contest in June. [すでに決まった予定や計画]

- ⑦ **will** は「きっとそうする」とその場で思ったことや「きっとそうなる」と話者が思うことを表す。  
 ⑧ **be going to** は前からそうすると決めていることを表す。  
 be going to でそうなりそうなこと(兆候)も表す。▶ It's **going to snow** today.  
 ◆ 未来進行形〈will be + 動詞のing形〉  
 ▶ I'll **be having** an interview at this time tomorrow. [(未来のある時点で)しているであろう]

例文訳 ① 科学部は週に1度ミーティングをします。② 私たちは現在、新入部員を募集しています。③ 私は春休みの間、週に5日泳ぎました。④ エマは地元のテニストーナメントで3回優勝したことがあります。⑤ ジョンは1時間ドラムを演奏しています。⑥ 彼は5歳になる前にすでにスケートができるようになっていました。⑦ 私は次の陸上大会に向けて一生懸命練習します。⑧ 私たちは6月にスピーチコンテストに出場する予定です。

## 1 日本語に合うように( )に適切な語を書きなさい。

A

- (1) 私の父はナンシーのことをとてもよく知っています。  
My father ( ) Nancy very well.  
 (2) 今、私たちは10月の文化祭について話をしています。  
Now we ( ) ( ) about our school festival in October.  
 (3) 彼らは昨日、京都にある美術館を訪れました。  
They ( ) a museum in Kyoto ( ).  
 (4) 私たちが帰宅したとき、兄はテレビを見ていました。  
My brother ( ) ( ) TV when we came home.

## 2 日本語に合うように( )内の語句を並べかえ、全文を書きなさい。

B

- (1) ベッキーはたった今、日本に到着したところです。  
Becky ( in / arrived / has / just ) Japan.  
 \_\_\_\_\_  
 (2) 私は以前、そのサッカー選手のことを聞いたことがあります。  
I've ( before / of / that soccer player / heard ).  
 \_\_\_\_\_  
 (3) 彼はこの町に引っ越してくる前に20年間香港に住んでいました。  
He ( lived / Hong Kong / for / in / twenty years / before / had ) he moved to this town.  
 \_\_\_\_\_  
 (4) ここではどのくらい雨が降り続いていますか。  
( how / has / been / it / raining / long ) here?  
 \_\_\_\_\_

## 3 [ ]の語を適切な形で使って、対話文を完成させなさい。

C

- (1) A: Oh no, we are out of milk.  
B: I \_\_\_\_\_ and get some. [ go ]  
 (2) A: My smartphone doesn't work.  
B: That's too bad. Are you \_\_\_\_\_ a new one? [ buy ]  
 (3) A: Can I call you at eight this evening, Kate?  
B: Sorry, I \_\_\_\_\_ an online English class at that time. [ take ]

## 4 [ ]の語句を適切な形で使って、日本語に合う英文を完成させなさい。

A B C

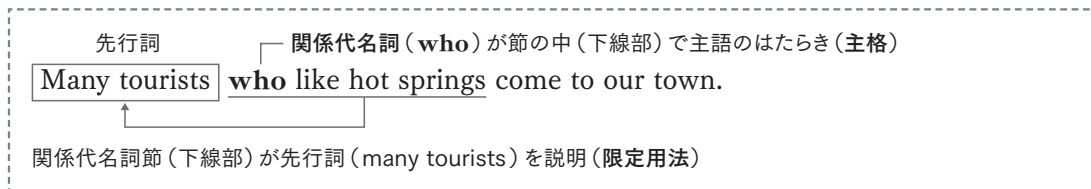
- (1) 昨年、オーストラリアに行くまで、私は外国に行ったことが一度もありませんでした。 [ be abroad / before ]  
 \_\_\_\_\_ Australia last year.  
 (2) マコトは大学時代に2回、一人旅をしました。 [ travel alone / while ]  
 Makoto \_\_\_\_\_ in college.  
 (3) 彼女は大学に通うために来月、京都に引っ越す予定です。 [ going / go to college ]  
 She \_\_\_\_\_ .

A 関係代名詞 (限定用法)

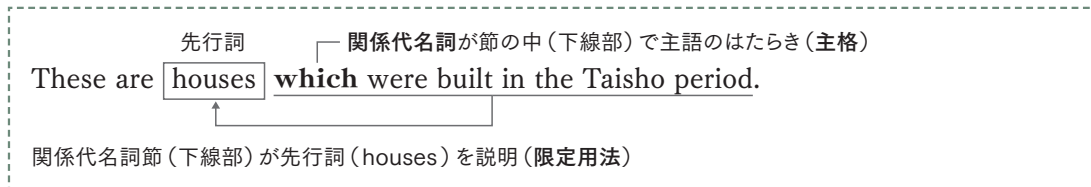
参 pp.309-315

- ① Many tourists **who** like hot springs come to our town. [主格の関係代名詞]
- ② These are houses **which** were built in the Taisho period. [主格の関係代名詞]
- ③ I'll show you around the shrine **that** I visit every New Year. [目的格の関係代名詞]

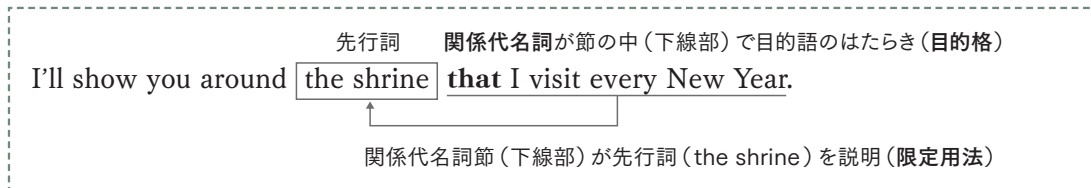
① 関係代名詞を使うと、名詞(先行詞)に説明を加え、その意味を限定することができる(限定用法)。先行詞が人の場合は **who** または **that** を用いる。関係代名詞が節の中で主語のはたらきをするとき、この形を**主格**と呼ぶ。



② 先行詞が人以外の場合は **which** か **that** を使う。

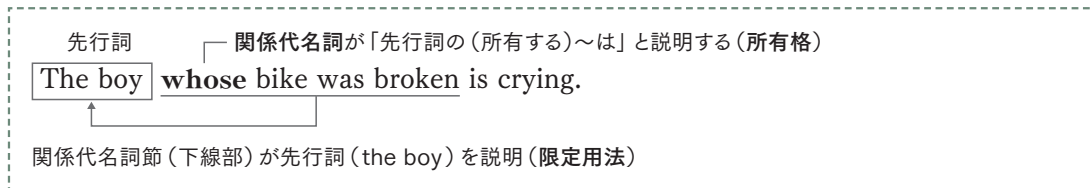


③ 関係代名詞が節の中で目的語のはたらきをするときの形を、**目的格**と呼ぶ。先行詞が人の場合は目的格 **whom** (口語では **who** や **that** を使うことが多い)、人以外の場合は **which** か **that** を使う。目的格の関係代名詞は省略することも多い。



関係代名詞には**所有格**もある。人・ものを先行詞とし、所有格 **whose** を使う。

▶ The boy **whose** bike was broken is crying. (自転車が壊れた少年が泣いています)



例文訳 ①温泉が好きな多くの観光客が私たちの町を訪れます。②これらは大正時代に建てられた家屋です。③毎年私がお正月にお参りしている神社を案内しましょう。

1 日本語に合うように( )に適切な語を書きなさい。

A

- (1) 隣に住んでいる男性は医者です。  
The man ( ) ( ) next door is a doctor.
- (2) 空港行きのバスは30分おきに走ります。  
The bus ( ) ( ) to the airport runs every half hour.
- (3) 私は、妹さんが有名な小説家だという男性に会いました。  
I met a man ( ) ( ) is a famous novelist.
- (4) 彼が公園で会った女性は私の姉です。  
The woman ( ) ( ) ( ) in the park is my sister.
- (5) 私がオークションで手に入れた絵画を見せてあげましょう。  
I'll show you the painting ( ) ( ) ( ) at the auction.
- (6) あなたがなくしたカギは見つかりましたか。  
Have you found the key ( ) ( ) ?

2 日本語に合うように( )内の語句を並べかえ、全文を書きなさい。

A

- (1) あの人は先日私を助けてくれた女性です。  
That's ( who / me / the lady / helped ) the other day.  
\_\_\_\_\_
- (2) その店で売っている肉は値段が高いです。  
The meat ( sell / expensive / that they / is / at the shop ).  
\_\_\_\_\_
- (3) ガザに住む人々には助けが必要です。  
( live / the people / Gaza / need / who / in ) help.  
\_\_\_\_\_
- (4) あなたが昨日見た映画はおもしろかったですか。  
( the movie / that / yesterday / saw / you / was ) interesting?  
\_\_\_\_\_
- (5) 私は仕事が消防士であるカナダ人と会いました。  
I ( is / job / a Canadian / met / whose ) a firefighter.  
\_\_\_\_\_
- (6) 彼女が書いた本は1冊も読んだことがありません。  
I've ( read / that / of the books / never / any ) she wrote.  
\_\_\_\_\_

3 [ ]の語を使って、日本語に合う英文を完成させなさい。

A

- (1) 彼はトーナメントで優勝した有名なテニス選手です。 [ who ]  
He \_\_\_\_\_ the tournament.
- (2) 私たちが乗った列車は非常に混雑していました。 [ that ] (松本歯科大)  
The train \_\_\_\_\_ .

**B** 関係代名詞 (非限定用法)

pp.317-322

- ④ The local event featured *famous musicians*, **who** performed live music. [名詞を補足説明]  
 ⑤ *Our town appeared in a film*, **which** was big news to us. [前の文全体を補足説明]

④ 名詞の意味を限定しないで補足説明を加える場合は、関係代名詞 **who / whom / which / whose** の前にコンマを入れる (非限定用法)。この用法で **that** は使えない。固有名詞や所有格のつく名詞など、意味を限定する必要がない名詞が先行詞の場合は、非限定用法を使うのがふつう。

- ▶ *Mt. Fuji*, **which** is the highest mountain in Japan, attracts many foreign tourists.
- ▶ *My sister*, **whose** voice is beautiful, appeared in a singing contest.

⑤ 非限定用法で、前の文の一部や全体に情報を加えることもできる。  
 ▶ She said *she didn't owe anyone any money*, **which** was a lie. [前の文の一部を補足説明]

◆ 情報を追加する範囲を示す

- some of which (そのうちのいくつか) / 人の場合は some of whom (そのうちの何人か)  
 ▶ I took many photos during my trip, **some of which** I posted on my social media.
- all of which [whom] (そのうちのすべて)  
 ▶ She has three dogs, **all of which** are very friendly.

**C** 関係副詞

pp.325-330

- ⑥ February is *the month* **when** we have the snow festival. [時]  
 ⑦ In this park, there are *many spots* **where** you can take great photos. [場所]  
 ⑧ I don't know *the reason* **why** they changed the schedule. [理由]

⑥ ⑦ 関係副詞の **when** は時、**where** は場所を表す名詞について説明したり情報を加えたりする。

- ▶ Are there times **when** you feel lonely? [限定用法]
- ▶ Two years ago, **when** we lived in Okinawa, I met him for the first time. [非限定用法]

⑧ 関係副詞 **why** は the reason を先行詞とする。先行詞を省略して That is why ... の形で使うことも可能。

◆ 関係副詞を用いた文は、前置詞 + 関係代名詞を用いた文で書きかえることもできるし、関係代名詞を省略することもできる。

- ▶ In this park, there are many spots (**in which**) you can take great photos. [例文⑦]
- ▶ I don't know *the reason* (**for which**) they changed the schedule. [例文⑧]

前置詞を関係代名詞節の最後に置くこともできる。またこの場合は、関係代名詞に **that** を用いることもできるし、関係代名詞を省略することもできる。

- ▶ In this park, there are many spots (**which / that**) you can take great photos **in**. [例文⑦]

例文訳 ④ その地元のイベントには有名ミュージシャンたちが出演し、彼らは生演奏を行いました。⑤ 私たちの町が映画に出たのですが、それは私たちにとって大きなニュースでした。⑥ 2月は雪祭りがある月です。⑦ この公園には、すてきな写真が撮れる場所がたくさんあります。⑧ 彼らがスケジュールを変更した理由は私は知りません。

① 関係代名詞の非限定用法を使って、2つの英文を1文に書きかえなさい。

B

- (1) Jane is very friendly. She is John's sister.  
 → \_\_\_\_\_
- (2) We stayed at the Park Hotel. My uncle recommended it.  
 → \_\_\_\_\_
- (3) Ken couldn't come to the party. That was a pity.  
 → \_\_\_\_\_

② 日本語に合うように ( ) に適切な語を書きなさい。

B C

- (1) 彼女には3人の兄弟がいて、全員海外に住んでいます。  
 She has three brothers, ( ) ( ) ( ) live abroad.
- (2) その家々はほとんど空き家で、売りに出されています。  
 The houses, ( ) ( ) ( ) are empty, are for sale.
- (3) 大学を卒業した日のことは決して忘れないでしょう。  
 I'll never forget the day ( ) I graduated from college.
- (4) 彼が私を無視した理由がわかりません。  
 I don't understand ( ) ( ) ( ) he ignored me.
- (5) これは私の大好きな作家が生まれた家です。  
 This is the house ( ) ( ) my favorite writer was born.

③ 日本語に合うように ( ) 内の語句を並べかえ、全文を書きなさい。

C

- (1) 私は今でもスピーチコンテストで自分が1位になった瞬間のことを覚えています。  
 I still remember ( won / I / when / first prize / the moment ) in the speech contest.  
 \_\_\_\_\_
- (2) 昨日あの人気のラーメン屋に行きましたが、たくさんの人が並んで待っていました。  
 Yesterday I went to that popular ramen shop, ( were / where / people / waiting / many ) in line.  
 \_\_\_\_\_
- (3) それが彼が世界記録を破ったレースです。  
 That's ( in / he / the world record / broke / the race ).  
 \_\_\_\_\_

④ [ ] の語句を適切な形で使って、日本語に合う英文を完成させなさい。

B C

- (1) 私はピカソのあの有名な絵を見ましたが、あれは私に深い感銘を与えました。  
 [ by Picasso / which / deeply impress ]  
 I saw that \_\_\_\_\_ .
- (2) 彼が働くレストランは、観光客にとっても人気があります。  
 [ where ] (工学院大)  
 \_\_\_\_\_ among tourists.

群動詞を覚えると、会話や文章でよく使われる自然な英語が理解でき、表現の幅が広がります。

come	come about (起こる)	come out (明らかになる)
	come across (～に出くわす)	come up with (～を思いつく)

- A big change *came about* in my life. (私の生活に大きな変化が起きた)
- The truth always *comes out* in the end. (事実はいつも最後には明らかになる)
- I *came across* an old photo album. (私は古いアルバムを偶然見つけた)
- I've just *come up with* a great idea. (いま名案を思いついたぞ)

get	get over (～を克服する)	get together (集まる)
	get through (～を乗り越える)	get along with (～とうまくやっていく)

- He *got over* his fear of dogs. (彼は犬への恐怖を克服した)
- We can *get through* the problem together. (私たちはその問題を一緒に乗り越えることができる)
- The team *got together* before the game. (試合の前にチームが集まった)
- Do you *get along with* your neighbors? (あなたは近所の人たちとうまくやっていますか)

go	go by (過ぎる)	go along with (～に賛成する)
	go on (続く)	go with (～と合う [調和する])

- Three years have *gone by* since we met. (私たちが出会ってから3年が過ぎた)
- The war *went on* for many years. (その戦争は何年も続いた)
- We all *went along with* her decision. (私たちはみんな彼女の決定に賛成した)
- That jacket *goes well with* those pants. (そのジャケットはそのズボンによく合う)

look	look after (～の世話をする)	look up (～を調べる)
	look for (～を探す)	look forward to (～を楽しみに待つ)

- Can you *look after* my cat this weekend? (今週末、私のネコの世話をしてくれますか)
- I'm *looking for* a job. (私は仕事を探している)
- Please *look up* the meaning of this word. (この単語の意味を調べてください)
- I'm *looking forward to* seeing you. (あなたとお会いするのを楽しみにしています)

make	make out (～を理解する)	make up for (～の埋め合わせをする)
------	-------------------	--------------------------

- I could hardly *make out* what she was saying. (彼女が言っていることはほとんどわからなかった)
- I'll *make up for* my mistake. (自分のミスを埋め合わせます)

put	put off (～を延期する)	put up with (～に耐える)
	put on (～を着る)	put away (～を片づける)

- I don't want to *put off* doing my homework. (私は宿題をするのを先延ばしにしたくない)
- I can't *put up with* the heat. (この暑さに耐えられない)
- I *put on* my coat because it was cold. (寒かったので、私はコートを着た)
- After using the tools, *put them away*. (道具を使ったあとは片づけなさい)

take	take after (～に似ている)	take over (～を引き継ぐ)
	take away (～を取り除く)	take up (～を始める)

- I don't think he *takes after* his father. (彼は父親に似ていないと思う)
- His daughter is going to *take over* the company. (彼の娘が会社を継ぐことになっている)
- The warm sunlight *took away* my stress. (暖かい日差しでストレスがなくなった)
- My dad *took up* running to stay healthy. (父は健康でいるためにランニングを始めた)

本書の前半では、教科書のレッスン単位で文法の学習をしました。後半では文法を体系的に整理し、高校で学ぶべき項目をひととおりおさえます。文の形や表現が身についているか確認し、問題を解きながら力をつけていきましょう。最後に入試問題の文法問題を解き、力試しをしましょう。

01	時制のまとめ	50
02	完了形のまとめ	52
03	助動詞のまとめ	54
04	受動態のまとめ	56
05	不定詞のまとめ	58
06	動名詞のまとめ	60
07	分詞のまとめ	62
08	関係詞のまとめ	64
09	名詞の後置修飾	66
10	比較のまとめ	68
11	仮定法のまとめ	70
12	疑問文	72
13	否定表現	74
14	前置詞	76
15	接続詞	78
16	強調・倒置	80
●	入試問題で復習 & 力試し① (LESSON 1~5)	82
●	入試問題で復習 & 力試し② (LESSON 6~10)	84
●	入試問題で復習 & 力試し③ (LESSON 11~15)	86

関連: L2 A, L5 C, L8-1 A B

**A 名詞用法「～すること」** 名詞のはたらきをして主語・補語・目的語になる 参 pp.202-207

- ① My dream is **to travel** around the world. (世界を旅すること) [文の補語が不定詞]  
 ② **It is necessary to get** enough sleep. (十分な睡眠をとること) [形式主語]  
 ③ I found **it hard to break** my bad habits. (悪い習慣をやめること) [形式目的語]  
 ④ It's unusual **for her to make** mistakes. (彼女がミスをする事)「…が～すること」 [意味上の主語]  
 ⑤ He decided **not to join** any sports team. (入らないことに決めた) <not / never + 不定詞> [否定]

**B 形容詞用法「～する人／もの」** 不定詞句が直前の名詞を説明する 参 pp.207-210

- ⑥ I found someone **to help** me. (助けてくれるだれか) [名詞が不定詞の主語]  
 ⑦ We have a goal **to achieve**. (成し遂げるべき目標) [名詞が不定詞の目的語]  
 ⑧ Her words had the power **to change** my mind. (～する力) [不定詞が名詞の内容]  
 ⑨ He kept his promise **to call** me back. (～するという約束) [名詞と不定詞が同格]

**C 副詞用法「～するために」〔目的〕, 「～して」〔原因〕** 参 pp.210-215

- ⑩ I study hard **to pass** the exam. (合格するために) [目的]  
 「～しないように」を表す場合, <in order not [so as not] + 不定詞> を使う。  
 ⑪ I didn't tell her the truth **in order not to hurt** her. (彼女を傷つけないように)  
 ⑫ She opened the box **to find** it empty. (開けた結果, からっぽだと気づいた) [結果]  
 ⑬ I was shocked **to hear** the news of the accident. (事故の知らせを聞いて) [原因]  
 ⑭ You were wise **to ask** for advice. (助言を求めたのは賢明だった) [判断した根拠]  
 人の性質を判断した根拠や理由を述べる <It is + 形容詞 + of + 人 + 不定詞>  
 ⑮ It is kind **of you** to show me the way. (道を教えてくれてありがとう) [意味上の主語]

**D だれかへの願望・命令・依頼を表す <want / tell / ask + 人 + 不定詞>** 参 pp.220-222

- ⑯ I **want you to listen** to me carefully. (あなたに聞いてほしい) [願望]  
 ⑰ The police officer **told** the man **to freeze**. (男に動くなと言った) [命令]  
 ⑱ He **asked** the waiter **to bring** some water. (ウェイターに持ってくるよう頼んだ) [依頼]  
 advise, order, expect, warn などの動詞もこの形をとる。

**E 不定詞の進行形, 受動態, 完了形** 参 pp.230-233

- ⑲ The baby seems **to be crying**. (泣いているようだ) <to be + 現在分詞> [進行形]  
 ⑳ The rules need **to be followed**. (守られる必要がある) <to be + 過去分詞> [受動態]  
 ㉑ He seems **to have lost** his wallet. (なくしたらしい) <to have + 過去分詞> [完了形]

**F <be 動詞 + 不定詞> で義務・予定・可能を表す** 参 pp.235-236

- ㉒ The team **is to play** in the final match tomorrow. (決勝戦でプレーする予定だ) [予定]  
 ㉓ The form **is to be filled out** by hand. (記入しなければならない) [義務]  
 ㉔ Not a star **was to be seen** in the night sky. (見られなかった) [可能]

- 1** 意味の通る英文になるように, ( ) から最も適切な語句を選び, 丸で囲みなさい。
- (1) I forgot my pen. Can I borrow something ( writing / written / wrote / to write ) with?  
 (2) The little girl grew up ( to be / to have been / being / having been ) a beautiful lady.  
 (3) The ceremony is ( to hold / to have held / to be held / to be holding ) tomorrow.  
 (4) It was selfish ( for him to think / of him to think / for him thinking / of him thinking ) only about himself.  
 (5) It's almost 6 p.m., so I ( think / consider / expect / suppose ) my sister to be home soon.
- 2** 各組の英文が同じ状況を述べた文になるように, ( ) に適切な語を書きなさい。
- (1) You look ill. Shall I call a doctor?  
 → You look ill. Do you ( ) ( ) ( ) call a doctor?  
 (2) He isn't good at cooking. He couldn't cook fish.  
 → He isn't good at cooking. ( ) was not easy ( ) ( ) to cook fish.  
 (3) I need to cut this large bread. Do you have any tools?  
 → Do you have anything ( ) ( ) this large bread ( ) ?  
 (4) My brother left early to catch the train.  
 → My brother left early in ( ) ( ) ( ) miss the train.  
 (5) This report must be submitted online.  
 → This report is ( ) ( ) submitted online.
- 3** 状況を参考に, ( ) 内の語句を並べかえ, 全文を書きなさい。
- (1) A: Look at those dark clouds! (状況 姉と出かけた帰り道に)  
 B: Yeah, ( be / the weather / worse / to / getting / seems ). We'd better hurry home.  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_
- (2) When you ride a bike, you must wear a helmet ( to / as / hurt / not / get / so ). (状況 注意喚起)  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_
- (3) A: Does anyone know what Neil Armstrong did? (状況 授業で宇宙開発について)  
 B: I do. He was ( man / walk / on / to / the moon / the first ).  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_
- (4) A: Hey, did you enjoy the concert last night? (状況 教室で友だちと)  
 B: It was amazing! I finally ( to / the chance / see / got ) my favorite band live.  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_
- 4** [ ] の語句を適切な形で使って, 日本語に合う英文を完成させなさい。
- (1) ブラウンさんは, 映画中に騒がないようにと息子に言いました。 [ be noisy ]  
 Ms. Brown \_\_\_\_\_ during the movie.  
 (2) 私は彼女からその知らせを聞いてとても驚きました。 [ surprise / the news ]  
 I \_\_\_\_\_ her.